

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	カラーテレビカメラ
品番	WV-CW474AF
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	WV-CW474AF
販売店名	電話 ( ) -		

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号  
電話 フリーダイヤル 0120-878-410

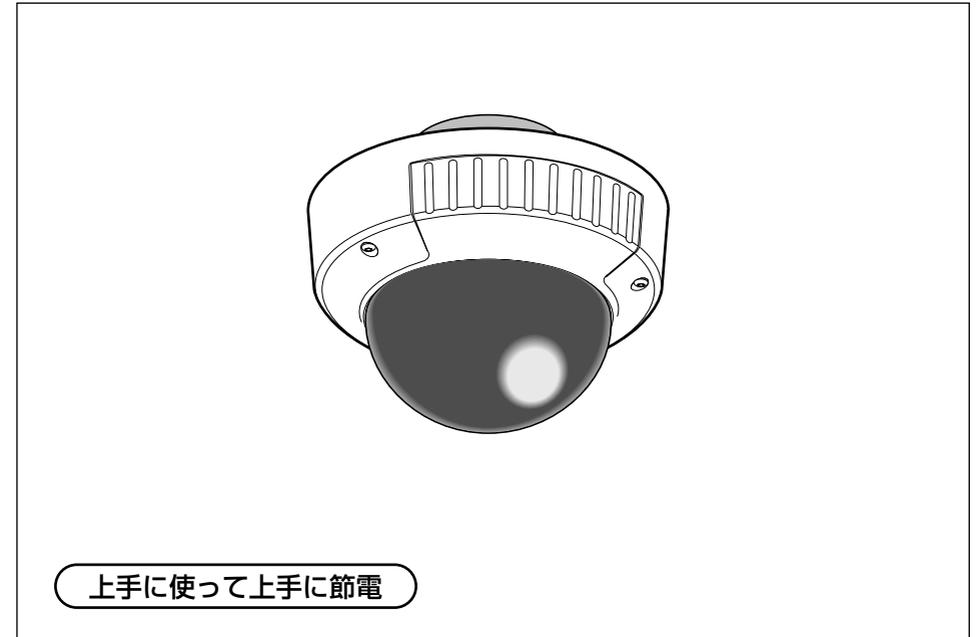
3TR004384BAA  
NM0206-1026

取扱説明書

工事説明付き

カラーテレビカメラ

品番 WV-CW474AF



保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(6ページ~7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

## 商品概要

本機は1/3型CCDを搭載したカラーテレビカメラです。主な特長は次のとおりです。

- 高感度CCD (charge coupled device) やDSP (digital signal processor) により高感度を実現。
- SUPER-DII (スーパーダイナミックII) 方式の採用により、照度差の激しい被写体も鮮明に撮影できます。
- 夜間などの低照度時、自動的に白黒モードへ切り替えることができ、被写体を鮮明に撮影できます。
- ノイズリダクション (映像のノイズを減少) により、最低照度がカラーモード2.0 lx、白黒モード0.2 lxの高感度を実現しています。別売りのドームカバー (WV-CW2C) を使用すれば、カラーモード0.8 lx、白黒モード0.1 lxでも撮影できます。
- 監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出できます (モーションディテクター機能)。この機能を使うことにより、夜間の人の侵入に反応して、VTR録画するといった監視システムを構築できます。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書 (本書)……………1冊  
保証書……………1式

以下の付属品は取り付け工事に使用  
します。  
ドライバービット……………1個  
ブチルゴムテープ……………1個

## 免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
  - ②お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など。
  - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
  - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害。
  - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
  - ⑥お客様による監視映像 (記録を含む) が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

## 個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

## 取扱説明

### はじめに

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	3
個人情報の保護について	3
安全上のご注意	6
取り扱い上のお願ひ	8
各部の名前	9

## 工事説明

### 設置・接続

設置上のお願ひ	11
設置工事を始める前に	12
カメラを設置する	13
接続する	18
ヒーターユニット (WV-CW3H) の接続	18

## 設定

設定メニューと基本操作	20
設定メニューの画面表示について	20
設定メニューの基本操作	21
設定メニューについて	23
①カメラタイトルを設定する [CAMERA ID]	23
②光量制御方式を設定する [ALC]	25
SUPER-DII機能について	25
設定のしかた	26
③シャッター機能を設定する [SHUTTER]	27
④ゲインの調節方法を設定する [AGC]	27
⑤デジタルノイズリダクション機能を設定する [DNR]	27

⑥電子感度アップを設定する [SENS UP]	28
⑦同期方法を設定する [SYNC]	29
⑧ホワイトバランスの調節方法を設定する [WHITE BAL]	30
⑨モーションディテクター機能を設定する [MOTION DET]	32
モーションディテクター機能について	32
検出条件	32
設定のしかた	33
⑩カメラの画質を調節する [SPECIAL]	35
<b>カメラの画質を調節する</b>	<b>36</b>
①画像を上下反転する [UP SIDE DOWN]	36
②クロマレベル (色度) を調節する [CHROMA GAIN]	36
③アパーチャレベルを調節する [AP SHARP/AP SOFT]	36
④ペDESTALレベルを調節する [PEDESTAL]	37
⑤クロマ位相 (色調) を調節する [HUE]	37
⑥映像解像度を設定する [RESOLUTION]	37
⑦電子ズームを調節する [EL-ZOOM]	37
⑧カラー映像と白黒映像を切り替える [BW MODE]	38
⑨傷を補正する [PIX OFF]	41
⑩設定内容を工場出荷時の状態に戻す [CAMERA RESET]	41

## その他

仕様	42
保証とアフターサービス	43

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。



## 警告

### 分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

### 総質量に耐える場所に 取り付け



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因になります。

- 取付場所を補強してください。

### 定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。

- 点検は販売店にご依頼ください。

### ねじや固定機構は しっかりと締め付ける



締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

# 取り扱い上のお願い

## 使用上のお願い

水滴または水沫のかからない状態で使用してください

本機に電源スイッチはありません  
電源を切るときは、電源ブレーカーを切ってください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります（推奨温度+35℃以下）。設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
- 周囲温度 -10℃～+50℃、湿度は90%以下の場所でお使いください（常時通電状態でお使いになる場合）。

## 取り扱いはていねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。また、ドームカバーに強い衝撃や振動を与えると、故障、浸水の原因になります。

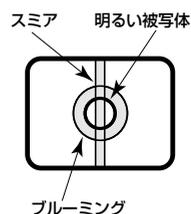
カバーのドーム部に直接触れないでください

ドーム部が汚れると、画質劣化の原因になります。

CCD色フィルターの焼き付きについて  
画面の一部にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分に変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

強い光にカメラを向けないでください

画面の一部にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スマア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。



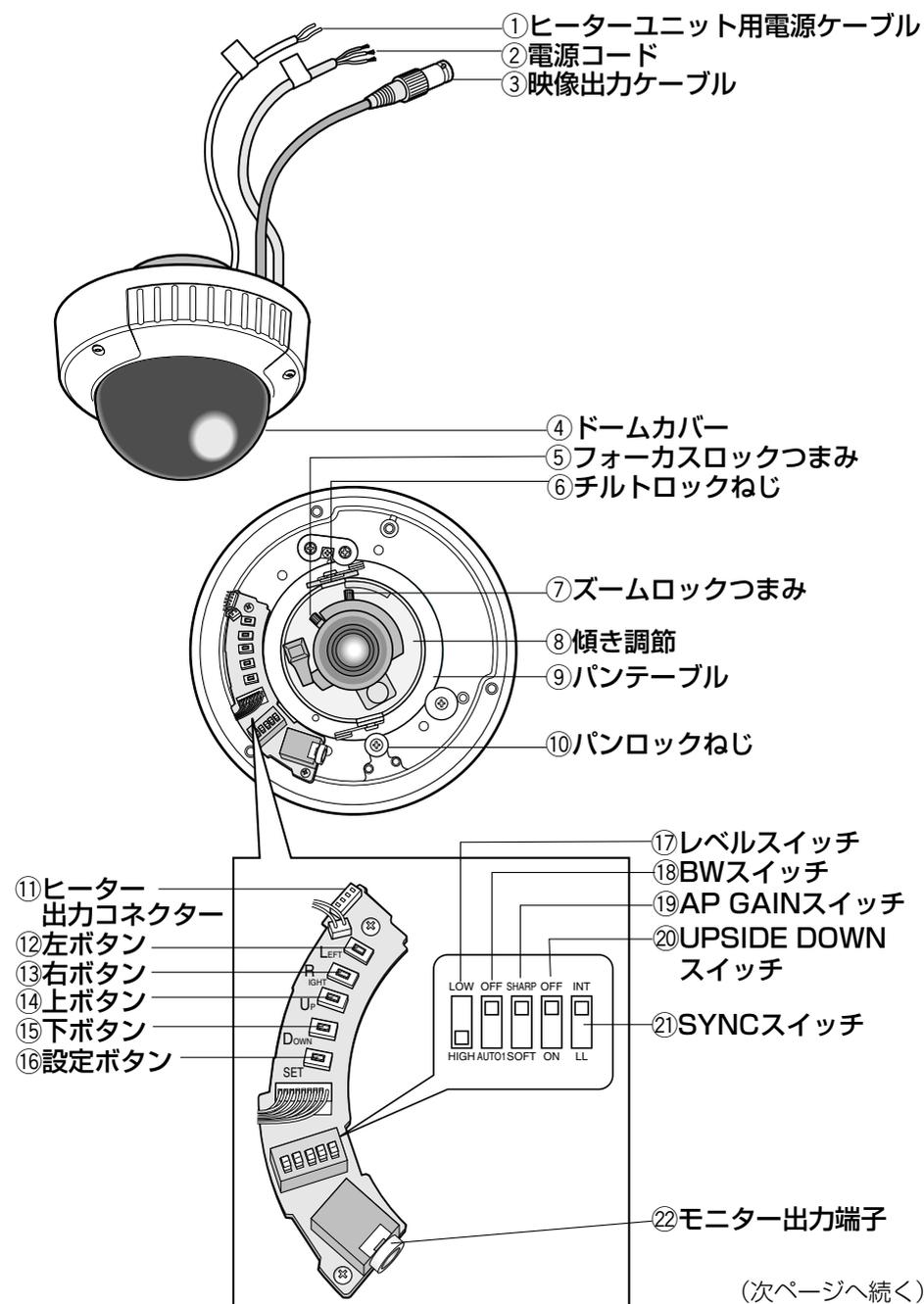
## お手入れは

お手入れは安全のためブレーカーを切ってから行ってください。けがの原因になります。  
ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

## 汚れがひどいときは

水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。

# 各部の名前



(次ページへ続く)

- ①ヒーターユニット用電源ケーブル  
ヒーターユニット (別売り) 用の電源を接続します。
- ②電源コード
- ③映像出力ケーブル
- ④ドームカバー
- ⑤フォーカスロックつまみ  
フォーカス位置を固定します。
- ⑥チルトロックねじ  
チルトの位置を固定します。
- ⑦ズームロックつまみ  
ズーム位置を固定します。
- ⑧傾き調節  
画の傾きを調節します。
- ⑨パンテーブル  
カメラの水平方向の角度を調節します。
- ⑩パンロックねじ  
パンテーブルを固定します。
- ⑪ヒーター出力コネクタ  
ヒーターユニット (別売り) のケーブルを接続します。
- ⑫左ボタン  
カーソルを左に動かしたり、設定内容を切り替えます。
- ⑬右ボタン  
カーソルを右に動かしたり、設定内容を選択します。
- ⑭上ボタン  
カーソルを上を動かして、設定内容を切り替えます。
- ⑮下ボタン  
カーソルを下を動かして、設定内容を切り替えます。

- ⑯設定ボタン  
設定内容を確定します。
- ⑰レベルスイッチ  
白黒映像に切り替える照度を設定します。※1
- ⑱BWスイッチ  
画面の明るさ (照度) によって、カラー映像と白黒映像を自動的に切り替える設定を行います。※1
- ⑲AP GAINスイッチ  
アパーチャレベルを設定します。SHARP / SOFTのどちらかを設定します。※1
- ⑳UPSIDE DOWNスイッチ  
画像を反転するかどうかON / OFFで設定します。設置の際、および調節時は必ず固定してください。※1
- ㉑SYNCスイッチ  
同期方法を設定します。電源同期信号 (LL) / 内部同期信号 (INT)のどちらかを選択します。※1。

## メモ

- 電源同期モードは60 Hz地域でのみ使用できます。50 Hz地域で使用する場合は、必ず内部同期信号 (INT) に設定してください。

## ⑳モニター出力端子

- ※1 ⑰⑱⑲⑳㉑は、設定メニューからでも設定できます。ディップスイッチ、設定メニューどちらの設定を有効にするかは、設定メニューで設定します (※22ページ)。

## 設置上のお願い

**⚠警告 ⚠注意** に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

## 本機は軒下設置用です

直射日光や雨が直接当たる場所へは設置しないでください。

## ホワイトバランスについて

次のような場合は、ホワイトバランスが正しくとれないことがあります。

- 白が極端に少ない被写体や単一色に近い被写体を撮影する。
- 朝夕の屋外や低照度の状態で撮影する。
- 極端に色温度が違う (カラーの照明など) 状態で撮影する。

## 湿気やほこりの多い場所に設置しないでください

内部の部品がいたみやすくなり、故障の原因になります。

## カメラケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください

雑音の入る原因になります。

## 電波障害について

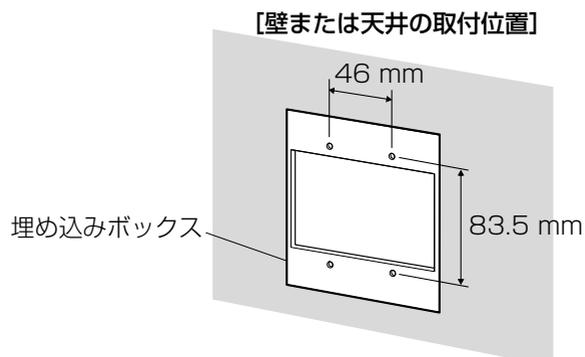
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界の近く (モーターやトランスなど) では、映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、専用の薄電線管を設けてカメラケーブルを通線してください。

# 設置工事を始める前に

カメラを壁または天井に取り付ける方法には、次の2通りがあります。

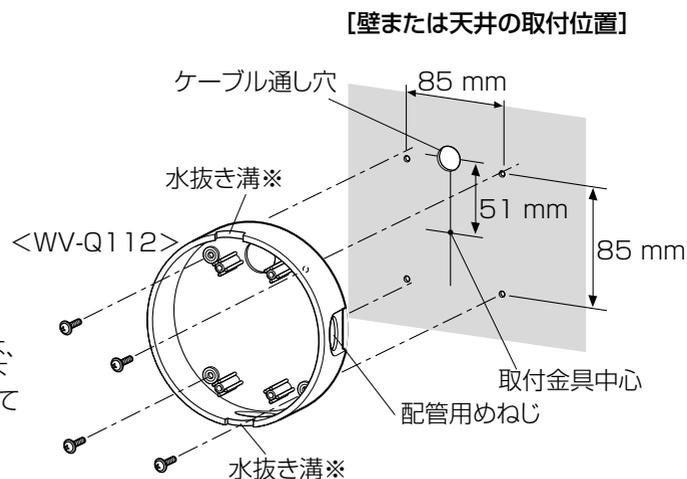
## ●埋め込みボックス（松下電工株式会社製 2コ口）を使用する

- 壁または天井に設置された埋め込みボックスにカメラを直接取り付けます。
- カメラを固定するねじは付属していません。ご用意ください。



## ●取付金具 WV-Q112（別売品）を使用する

- ケーブルを通す穴があいている壁または天井に取り付けるときや露出配線で取り付けるときは取付金具を使用します。（下図参照）
- 配管用めねじは、JIS C 8305（電線管ねじ）のCTG22またはJIS B 0202（管用平行ねじ）のG3/4に対応しています。
- 取付金具を壁または天井に固定するねじは付属していません。取付場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。
- カメラを取付金具に固定するねじは、取付金具に付属されています。



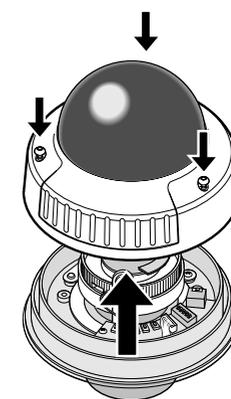
※壁に設置する場合は、水抜き溝が必ず上下になるように設置してください。

# カメラを設置する

1. ねじ3本をゆるめてドームカバーを外す  
付属のドライバービットを使ってねじを外します。

### メモ

- 別売のドームカバー（WV-CW2C）と交換するときも手順1と同様の作業を行います。

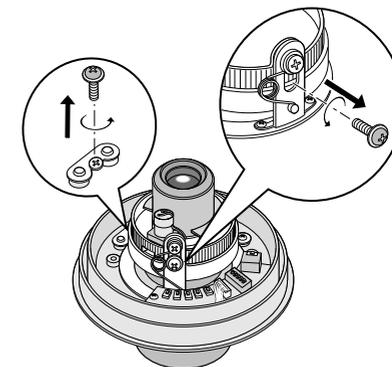


2. 輸送用の赤いねじ（2か所）を外す

3. 電源コードと映像出力ケーブルを接続する（※18ページ）。

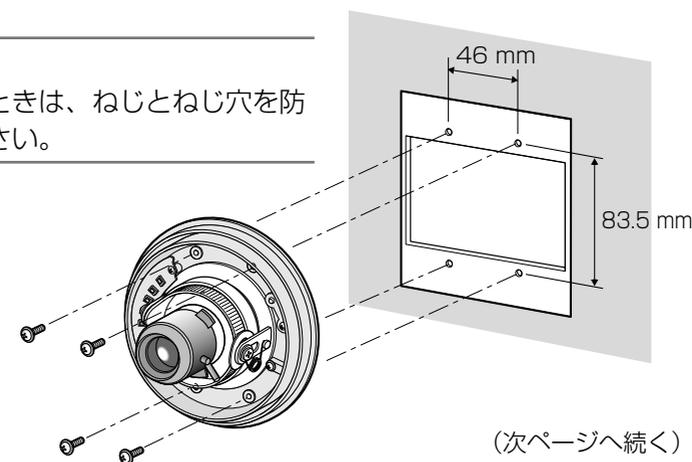
4. カメラを取り付ける

- 埋め込みボックスに取り付ける場合  
準備したねじ4本でカメラを固定してください（ねじは付属していません）。



### メモ

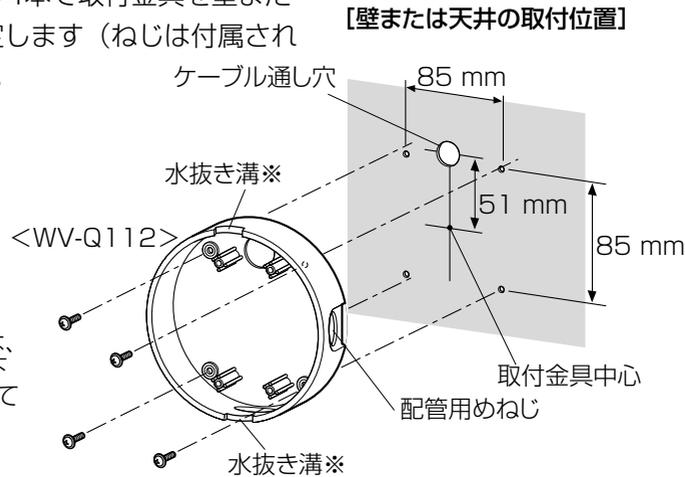
- 軒下に設置するときは、ねじとねじ穴を防水処理してください。



## カメラを設置する（つづき）

### ●取付金具に取り付ける場合

- ①準備したねじ4本で取付金具を壁または天井に固定します（ねじは付属されていません）。

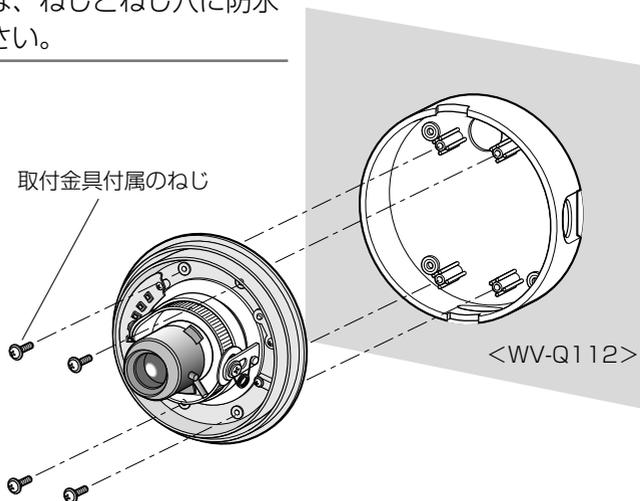


※壁に設置する場合は、水抜き溝が必ず上下になるように設置してください。

- ②取付金具付属のねじ4本でカメラを取付金具に固定します。

#### メモ

- 取付金具に付属のねじ以外を使用してカメラを固定した場合は、ねじとねじ穴に防水処理を施してください。



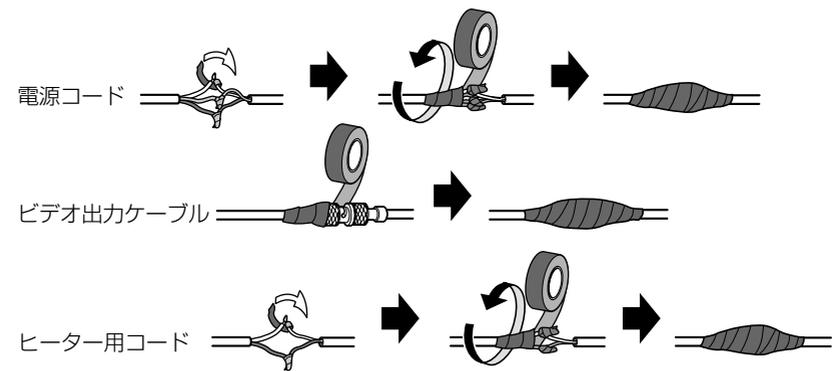
### ●ケーブルを露出配線する場合

- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。



#### メモ

- 軒下に設置するときはケーブルの防水処理をしてください。本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。
- 壁に取り付けるときは、水抜き溝が下側になるように取り付けてください。また、水抜き溝はふさがらないでください。
- カメラ電源コード、映像出力ケーブル、ヒーター電源コードの接続部には、付属のプチルゴムテープを巻いてください。
- プチルゴムテープは、約2倍の長さに伸ばしながら巻き付けてください。



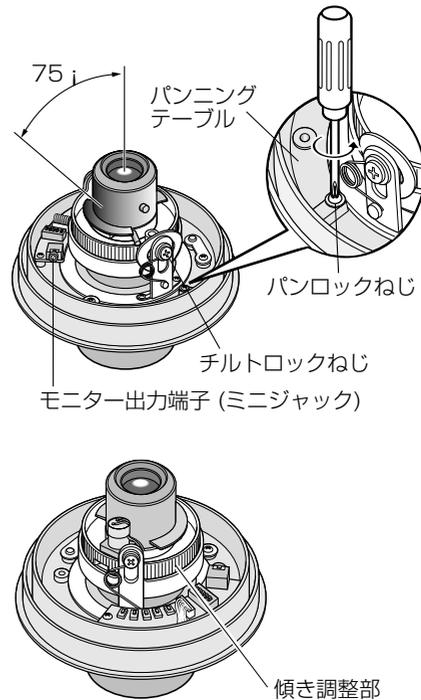
(次ページへ続く)

## カメラを設置する (つづき)

### 5. 調整用モニターの映像を見ながら カメラアングルを調整する

モニター出力端子に調整用モニター (小さな液晶モニターなど) を接続し、カメラアングルを調整してください。カメラアングルを決めるときは、次の手順①,②,③の調整作業を少しずつ動かし、微調整をくり返しながら設定してください。

- ①パンロックねじをゆるめて、水平方向にカメラ部を回転させ、パンの調整を行います。
- ②チルトロックねじをゆるめて、垂直方向にカメラ部を回転させ、チルトの調整を行います。  
※チルトロックねじの反対側にある黒いねじは触らないでください。
- ③傾き調整部を回し、画の傾きを調整します。
- ④カメラアングルが決まったらパンロックねじとチルトロックねじを締めます。



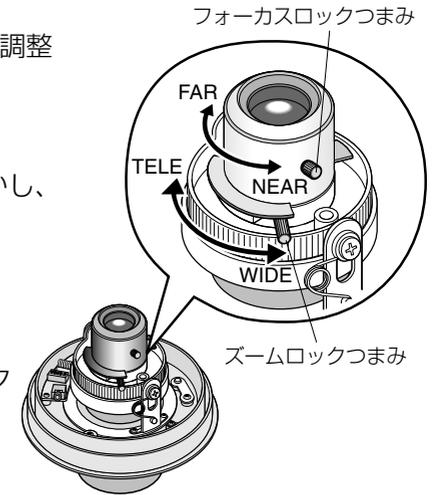
#### メモ

- 調整用モニターを接続すると、映像出力端子からは映像が出力されません。
- 調整用モニターを接続するとカメラの光量制御方式が電子絞り制御 (ELCモード: Electrical Light Control) となり、レンズの絞りは解放となります。これにより、焦点の合う被写体距離の範囲が狭まるため、より正確なフォーカス調整が行えます。  
調整中に、スポットライトや窓からの光線などの強い照明を受けている被写体を映すとスミアやブルーミングが生じる場合がありますが、実際の使用状態ではALCモード (Automatic Light Control) になりますのでスミアやブルーミングは軽減されます。
- パン、チルト調整と同時に、手順6のフォーカス調整を行ってください。

### 6. フォーカスを調整する

フォーカス調整は、パン、チルトの調整 (手順5) と同時に行います。次の手順①,②,③を行い、フォーカスを調整してください。

- ①ズームロックつまみをゆるめて、TELE ⇄ WIDE間で適当な画角に動かし、ズームロックつまみを締めます。
- ②フォーカスロックつまみをゆるめて、フォーカスを調整します。
- ③ピントが合う位置でフォーカスロックつまみを締めます。

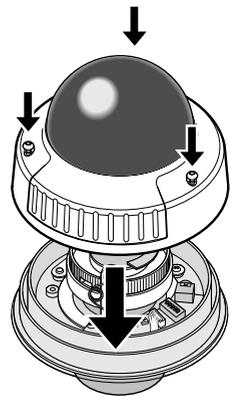


#### メモ

- 画角を変える場合は、もう一度ズームロックつまみ、フォーカスロックつまみを回してピントを合わせてください。

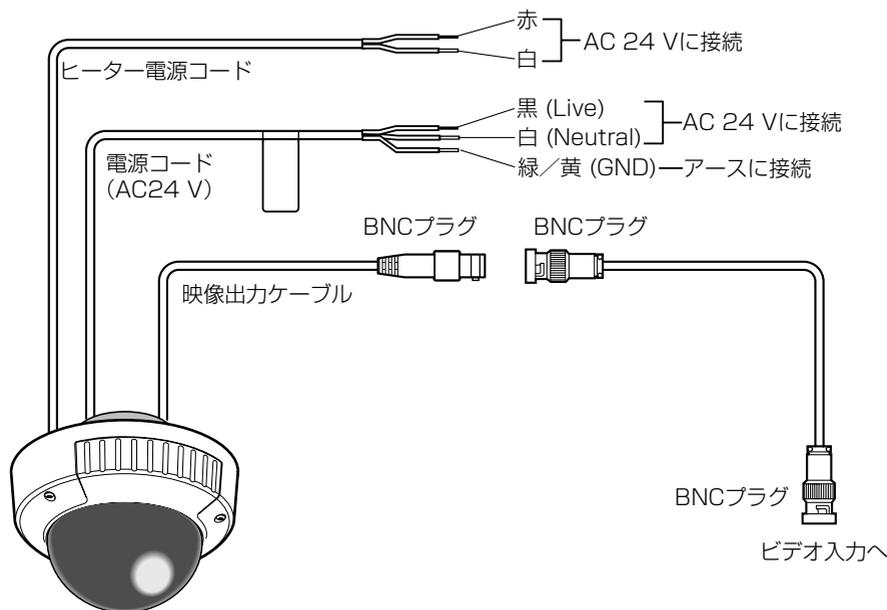
### 7. ドームカバーを取り付ける

手順1で外したねじを付属のドライバービットを使って締めます。



# 接続する

10 VAを超える電源トランスは使用しないでください。



## メモ

- ヒーター電源コードは、ヒーターユニット（別売り）を使用しない場合は使用しません。その場合は、ケーブル先端をショートさせないように注意して、付属のブチルゴムテープを巻いて防水処理してください。

## ヒーターユニット (WV-CW3H) の接続

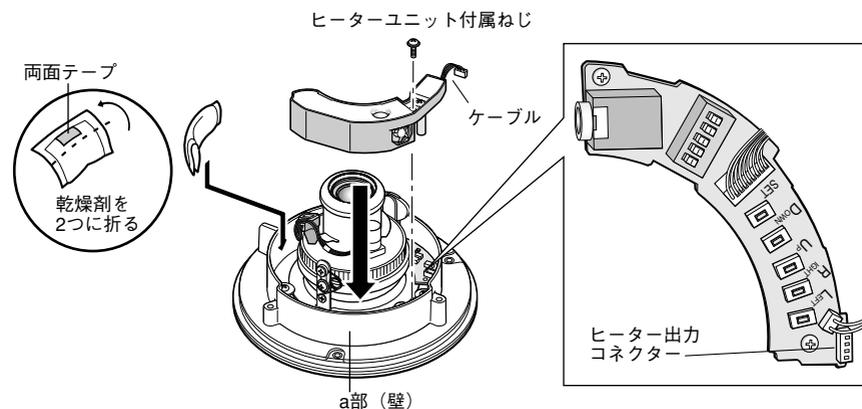
別売のヒーターユニットを使用すると、屋外の低温環境でもカメラが使用できるようになります。使用できる温度は $-30^{\circ}\text{C}$ までです。カメラの内部温度が約 $10^{\circ}\text{C}$ 以下になると自動的にヒーターがONになり、内部温度が上昇するとOFFになります。結露緩和用ファンによって、温度変化によるカメラドームの曇り（結露）を緩和します。ただし、急激な温度変化による著しい結露については緩和しきれない場合があります。ファンは、結露が生じる恐れのない周囲温度下では自動的に停止します。

## !!重要!!

- カメラ本体とヒーターユニットは別の電源を使用してください。同一電源から供給すると、ヒーターユニット動作開始時、カメラ画像に影響が出る場合があります。
- 取り付け・取り外しは、必ずカメラの電源を切った状態で行ってください。通電時、ヒーターユニットは高温になりますので、取り外しの際は、カメラとの接続コネクタをはずし、温度が下がってから行ってください。
- $-10^{\circ}\text{C}$ 以下の環境で、設置・使用開始する場合、起動直後は正常な画像が得られない場合があります。この場合、カメラが暖まるのを待ってから（約30分以上）電源を再度入れてください。

## ●ヒーターユニットの取り付けかた

- ①カメラのドームカバーを外し、所定の位置に付属のねじ（×1）で取り付けます。
- ②ヒーターユニットのケーブル（×1）をカメラ本体のコネクタに接続します。
- ③乾燥剤（ヒーターユニットに付属）をa部（壁）の内側に貼り付けます



## !!重要!!

- 乾燥剤はヒーターユニットの通風孔をふさがないように貼り付けてください。
- 乾燥剤はa部（壁）より上に出っ張らないように貼り付けてください。
- ヒーターユニットを取り付けた後、ドームカバーを取り付ける際、ヒーターユニットケーブルを挟まないように注意してください。

# 設定メニューと基本操作

本機の各機能の設定は、設定メニューをモニター画面に表示して行います。設定メニューでは、以下の機能を設定できます。

設定メニュー	内容	参照ページ
CAMERA ID	カメラタイトルの設定	23
ALC	光量制御方式の設定	25
SHUTTER	シャッター機能の設定	27
AGC	ゲインコントロールの設定	27
DNR	デジタルノイズリダクション機能の設定	27
SENS UP	電子感度アップの設定	28
SYNC	同期方法の設定	29
WHITE BAL	ホワイトバランス方式の設定	30
MOTION DET	モーションディテクターの設定	32
SPECIAL	カメラの画質調節	35, 36

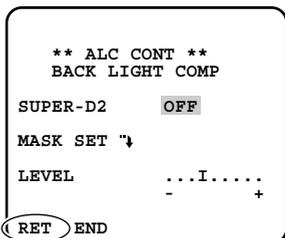
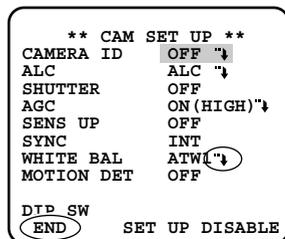
## 設定メニューの画面表示について

各設定画面の共通の表示については以下のとおりです。

↵ : 設定項目の右側に表示され、その設定項目には詳細項目を設定するサブメニューがあることを示しています。

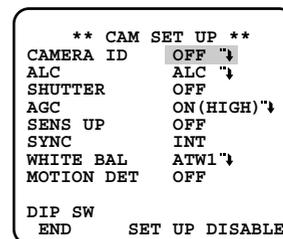
END : 設定メニューを終了し、通常の映像画面に戻ります。

RET : 画面の左下に表示され、ひとつ上の階層の画面に戻ります。



## 設定メニューの基本操作

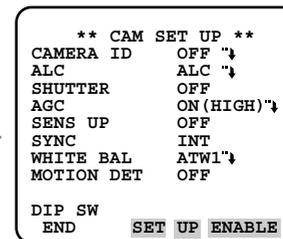
1 設定ボタンを2秒以上押し続ける。  
→設定メニュー画面が表示されます。



2 設定メニューを操作できるよう設定モードを切り替える。  
下ボタンまたは上ボタンを押して、カーソルを「END」に合わせる。

3 右ボタンを押し、カーソルを「SET UP」に合わせる。

4 設定ボタンを押し、設定モードを「DISABLE」から「ENABLE」に切り替える。  
→設定メニューが設定できる状態になります。



### メモ

●システムコントローラーから設定メニューを表示するときは、最初から「ENABLE」と表示されます。

5 各機能の設定を行う。

設定メニューの選択 : 上ボタンまたは下ボタンを押して、カーソルを設定したいメニューに合わせます。

設定内容の切り替え : 左ボタンまたは右ボタンを押します。

設定内容の確定 : 他のメニューにカーソルを移動すると確定されます。

サブメニューの表示 : ↵ が表示されているメニューにカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

上の階層の画面に戻る : 「RET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

### メモ

●システムコントローラーから設定するときは、各コントローラーの取扱説明書をお読みください。

(次ページへ続く)

## 設定メニューと基本操作（つづき）

- 6 設定メニューを終了するとき、「END」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。  
→通常の映像画面に戻ります。

### !!重要!!

- 設定メニュー画面を表示させたまま、5分間何も操作しないと、自動的に設定メニューの画面が終了し、通常の映像画面に戻ります（システムコントローラーからのメニュー操作時は戻りません）。

### <設定メニューを操作するときは>

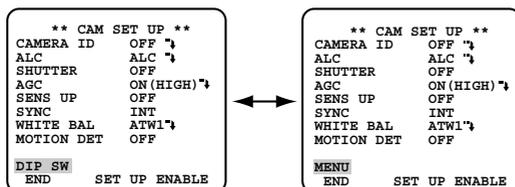
本機では誤操作を防止するために、設定メニューを表示させたとき、設定モードは「DISABLE」（操作不可の状態）になっています。設定メニューを操作するときは、設定モードを「ENABLE」に切り替えてください。  
(システムコントローラーから設定メニューを表示するときは、最初から「ENABLE」と表示されます。)

### <ディップスイッチで設定できるメニューについて>

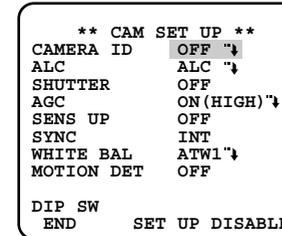
設定メニューの一部はディップスイッチでも操作できます。ディップスイッチで操作できるメニューについては、10ページをお読みください。

どちらの設定を有効にするかは設定メニュー画面で設定します。「DIP SW」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押すたびに、「DIP SW」と「MENU」が切り替わります。

ディップスイッチの設定を有効にする：「DIP SW」に設定  
設定メニューの設定を有効にする：「MENU」に設定



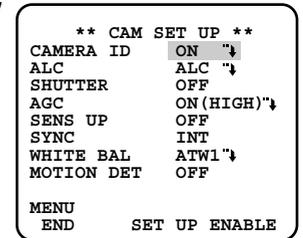
## 設定メニューについて



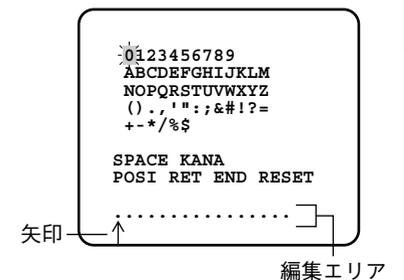
### ①カメラタイトルを設定する [CAMERA ID]

カメラの設置場所などを示すタイトルを設定し、画面上に表示させます。  
設定できる文字数は半角英数字16文字までです。

- 1 「CAMERA ID」を「ON」に設定し、設定ボタンを押す。  
→タイトル作成画面が表示されます。

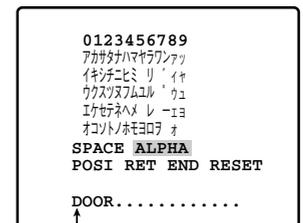


- 2 左ボタン、右ボタン、上ボタン、下ボタンを押して、入力したい文字の上にカーソルを合わせ、設定ボタンを押してタイトルを作成する。  
→タイトル作成画面の下の編集エリアに入力した文字が表示されます。



### <カタカナを入力したいときは>

カーソルを「KANJI」に合わせ、設定ボタンを押すと、タイトル作成画面のアルファベット表示がカタカナ表示に変わります。  
「ALPHA」にカーソルを合わせて設定ボタンを押すと、アルファベット表示に変わります。



(次ページへ続く)

＜文字を変更・削除したいときは＞

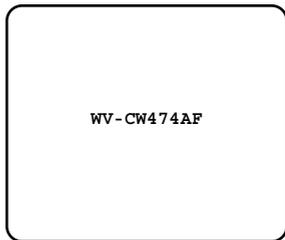
下ボタンを押して、カーソルを編集エリアに移動させます。左ボタン、右ボタンを押して、↑（矢印）を変更・削除したい文字に合わせます。変更するときは、カーソルを入力したい文字に合わせ、設定ボタンを押します。全ての文字を削除するときは、上ボタンを押して、「RESET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

＜スペース（空白）を入れたいときは＞

カーソルを「SPACE」に合わせ、設定ボタンを押します。既に文字が入力されている場合、その文字の上にスペース（空白）が上書きされるため、元の文字は消去されます。

- 3 タイトルを作成し終わったら、「POSI」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。  
→表示位置設定画面が表示されます。

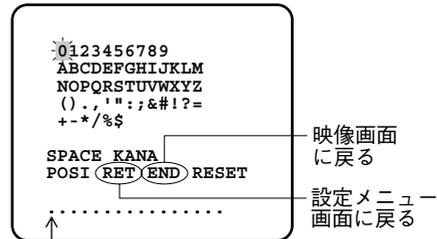
- 4 左ボタン、右ボタン、上ボタン、下ボタンを押して、タイトルを表示する位置を決め、設定ボタンを押す。  
→タイトル作成画面に戻ります。



＜カーソルを早く動かすには＞

左ボタン、右ボタン、上ボタン、下ボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルが早く動きます。

- 5 設定メニュー画面に戻るときは「RET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。通常の映像画面に戻るときは「END」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。



メモ

- カメラタイトルの表示位置をモニターの端ぎりぎりに設定しないでください。

②光量制御方式を設定する [ALC]

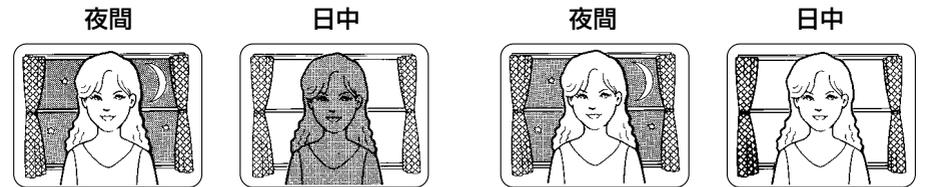
SUPER-DII 機能のON/OFFの設定と映像出力レベルの調節を行います。

SUPER-DII 機能について

画面中央に被写体を映している場合、背景にスポットライトのような明るい照明があると、カメラは明るい部分に合わせて絞りを設定してしまうため、被写体が暗くなってしまいます。この現象を解消するために、本カメラではスーパーダイナミック（SUPER-DII）方式を採用しています。この方式は、通常のカメラの約64倍のダイナミックレンジを確保できるため、逆光に対して大変効果的です。SUPER-DIIには、ONモード、OFFモードがあります。

[SUPER-D II 機能を働かせない場合]

[SUPER-D II 機能を働かせた場合]



ONモード（工場出荷時）：常にSUPER-DII 機能を働かせます。

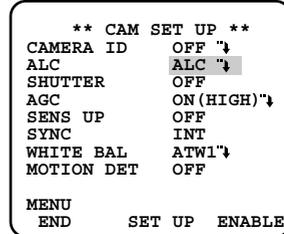
OFFモード：SUPER-DII 機能を停止します。この場合、手動で背景の明るい部分にマスクをかけ（隠し）、画面中央の被写体をはっきり映るように設定できます。

メモ

- SUPER-DII をONモードにすると、次に示す項目の設定内容が制限されます。  
SHUTTER：OFF、1/100のみ切替可能  
SENS UP：OFF、AUTOのみ切替可能
- SUPER-DII をONモードにして使用するとき、レベルを少し上げ気味に設定するとより効果が得られます（27ページ）。ただし、レベルを上げすぎると、ちらつきやノイズなどが多くなる場合があります。
- 照明の条件によって下記のような現象が見られるときは、OFFモードでご使用ください。  
・画面のちらつきや色の変化が生じる場合  
・画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

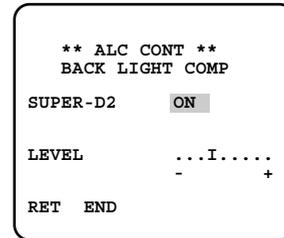
設定のしかた

- 1 「ALC」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。  
→SUPER-D II 設定画面が表示されます。



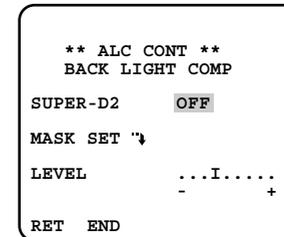
- 2 カーソルを「SUPER-D2」に合わせ、左ボタン、右ボタンでON/OFFを切り替える。

「ON」に設定した場合：手順6へ  
「OFF」に設定した場合：手順3へ

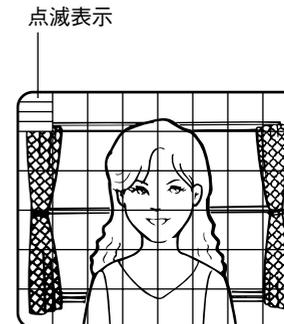


- 3 カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押す。

→画面を48ブロックに分割したマスク設定画面が表示されます。  
マスク設定画面では左上のブロックが点滅表示されています。



- 4 背景の明るい部分のブロックにマスクをかける。画面の点滅表示を左ボタン、右ボタンでマスクをかけたいブロックに合わせ、設定ボタンを押す。  
→マスクがかかっているブロックにカーソルがある場合、横縞と白が交互に表示されます。

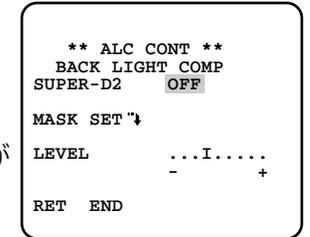


- 5 手順4を繰り返して、マスクをかけたいブロックを設定する。設定が完了したら、設定ボタンを2秒以上押す。  
→SUPER-DII 設定画面に戻ります。

- 6 映像出力レベルを調節するときには、カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタン (-)、右ボタン (+) で調節する。

<SUPER-DII をONに設定した場合>

レベルを上げすぎると、ちらつき、ノイズなどが多くなる場合があります。



③シャッター機能を設定する [SHUTTER]

電子シャッターのスピードを設定します (単位：秒)。

設定できるスピード：OFF (工場出荷時)、1/100、1/250、1/500、1/1 000、1/2 000、1/4 000、1/10 000

メモ

- SUPER-DII 機能を設定している場合、シャッター機能は OFF、1/100のみ使用できます。

④ゲインの調節方法を設定する [AGC]

被写体が低照度のとき、自動的にノイズリダクション機能を働かせて、ノイズを低減します。ただし、動きのある被写体では残像が発生することがあります。

ON (HIGH) (工場出荷時) / ON (MID) / ON (LOW)

：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。

( ) 内のHIGH/MID/LOWはゲインのレベルになります。

OFF：ゲインを上げません。

⑤デジタルノイズリダクション機能を設定する [DNR]

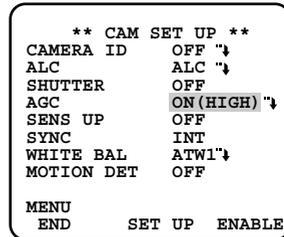
デジタルノイズリダクション機能を設定すると、低照度で自動的にノイズを低減します。ここではノイズリダクション効果のレベルを設定します。

LOW : ノイズ低減効果小 (残像小)

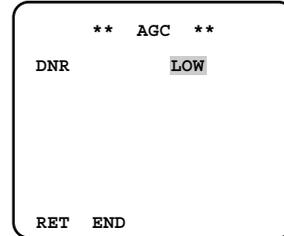
HIGH (工場出荷時) : ノイズ低減効果大 (残像大)

(次ページへ続く)

- 1 「AGC」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。  
→DNR設定画面が表示されます。



- 2 カーソルを「DNR」に合わせ、レベルを設定する。



## ⑥電子感度アップを設定する [SENS UP]

電子感度アップの倍率を設定します。

設定できる倍率：OFF (工場出荷時)、X2 AUTO、X4 AUTO、X6 AUTO、X10 AUTO、X2 FIX、X4 FIX、X6 FIX、X10 FIX、X16 FIX、X32 FIX

### メモ

- AUTOモードに設定した場合、自動的にゲインコントロール設定もONになります。
- 光量制御方式 (ALC) でSUPER-DII 機能を設定している場合、FIX設定はできません。また、電子感度アップ (SENS UP) をAUTOに設定した場合、電子感度アップの動作中はSUPER-DII 機能は機能しません。
- 倍率を上げると画面がざらついたり、白っぽくなったり、傷が現れる場合がありますが、異常ではありません。
- 電子シャッター (SHUTTER) を1/100に設定しているときは、AUTOモードのみ動作します。FIXモードは機能しません。

## ⑦同期方法を設定する [SYNC]

同期方法を設定します。

設定できる同期信号の種類と優先順位は次のようになっています。

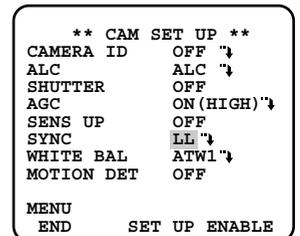
- ①多重化垂直ドライブ信号 (VD2) (最優先)
- ②電源同期信号 (LL) ※電源の周波数を元に同期を合わせます。
- ③内部同期信号 (INT) (最下位)

電源同期モード (LL) を設定した場合、位相を調節する必要があります。

### メモ

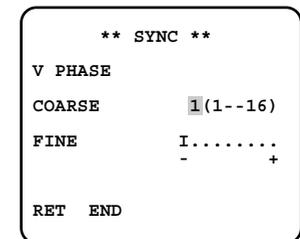
- 50 Hz地域では使用できません。
- VD2で同期を合わせる場合、この設定は無効になります。
- この設定はディップスイッチ (SW1) でも行えます。詳しくは10ページをお読みください。

- 1 「SYNC」を「LL」に設定し、設定ボタンを押す。  
→位相調節画面が表示されます。



- 2 V PHASE (垂直位相) を調節するカメラの映像出力信号と基準のカメラの映像出力信号を二重オシロスコープに接続する。

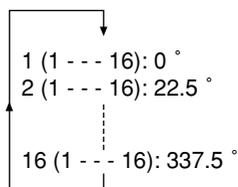
- 3 カーソルを「COARSE」に合わせる。



- 4 オシロスコープを垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大する。

(次ページへ続く)

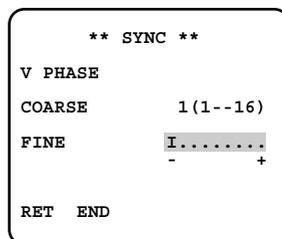
- 5 左ボタン、右ボタンで両方の垂直位相を調節する。  
22.5° ずつ16段階で調節する。



- 6 カーソルを「FINE」に合わせ、左ボタン (-)、右ボタン (+) で両方の垂直位相を調節する。

<カーソルについて>

- カーソルは右端の「+」までくると、「-」に戻ります。
- 左ボタン、右ボタンを2秒以上押し続けると、移動速度が速くなります。
- 左ボタン、右ボタンを同時に2秒以上押しすと、工場出荷時の状態に戻すことができます。



メモ

- この設定は後面の映像出力端子にVD2信号を入力していないときだけ設定できます。また、60 Hz地域のみ設定でき、50 Hz地域では使用できません。

⑧ホワイトバランスの調節方法を設定する [WHITE BAL]

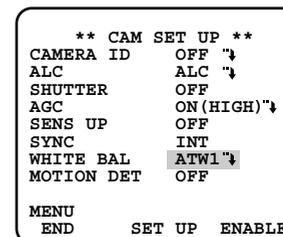
ホワイトバランスを自動調節する方式を設定します。設定したあと、手動で微調節することもできます。詳しくは31ページをお読みください (工場出荷時の設定は「ATW1」です)。

- ATW1 : カメラが色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します (自動色温度追尾モード)。
- ATW2 : ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調節します (ナトリウム灯自動色温度追尾モード)。
- AWC : ホワイトバランスを自動調節します (自動ホワイトバランスコントロールモード)。「AWC」を選択したら、左ボタンを押し「AWC→PUSH SW」に切り替え、設定ボタンを押します。調節中は、「PUSH SW」が反転表示になります。「PUSH SW」の反転表示が元に戻ったら、ホワイトバランスの調節は終了です。

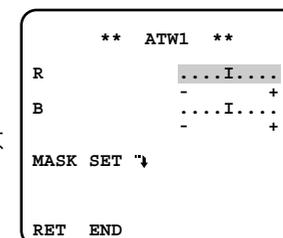
メモ

- 「ATW1」の動作範囲は、約2 600 Kから約6 000 Kです。色温度がこの範囲以外のときは、「AWC」にしてください。
- 下記の条件下で「ATW1」では色が忠実に再現できないため、「AWC」にしてください。
  - 被写体の大部分が強烈的な色であるか、光源がぬけるような青空や夕暮れ時の太陽の場合
  - 被写体を照らす照明が暗いとき
- 「AWC」では、約2 300 Kから約10 000 Kの間で適正なホワイトバランスが得られます。上記補正範囲から外れていたり、被写体を照らす照明が暗いときはホワイトバランスが完全にはとれないことがあります。この時「PUSH SW」は反転表示のままです。
- システム機器側のステータス表示では、ATW1、ATW2の表示にはなりません。

- 1 カーソルを「WHITE BAL」に合わせ、設定ボタンを押す。  
→微調節画面が表示されます。



- 2 カーソルを「R」「B」に合わせ、左ボタン (-)、右ボタン (+) で微調節する。  
「R」は赤色、「B」は青色を表しており、「+」に動かすと色が強く、「-」に動かすと、色が弱くなります。



⑨ モーションディテクター機能を設定する [MOTION DET]

監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出するよう設定できます (モーションディテクター機能)。モーションディテクターを設定する場合、検出レベルや範囲など詳細設定が必要です。

ON : モーションディテクターを設定する  
 OFF (工場出荷時) : モーションディテクターを設定しない

モーションディテクター機能について

モーションディテクターをONにすることによって、1/48ブロックごとに画面の動き (輝度変化) をとらえ、他の機器にアラーム信号を出力できます。例えば、動きを検出したときに、ビデオにアラーム信号を送り録画を開始するよう設定することができます。

検出条件

被写体の大きさ : 動く物体は画面の1/48以上の大きさが必要。  
 被写体のコントラスト : 背景画像と動く物体のコントラスト比が5 % (最大感度設定時) 以上必要。  
 被写体の動く速さ : 画面の端から端までを物体が通過する時間が0.1~0.8秒以上必要 (コントラスト比5 %の場合)。これより速い物体は検出できません。

メモ

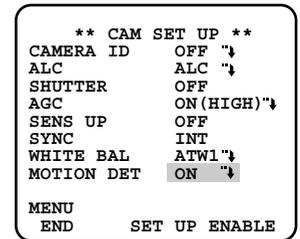
- コントラスト比によって被写体の大きさや動く速さの制限は異なります (コントラスト比 (明暗の差) が大きいと緩和されます)。

<デモモードについて>

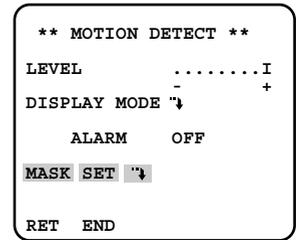
48分割した各ブロックの検出有無を画像で確認し、動きを感知する感度を調節したりマスク範囲を確認できます。

設定のしかた

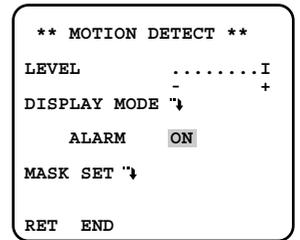
- 1 「MOTION DET」を「ON」にし、設定ボタンを押す。  
 →動き検出設定画面が表示されます。



- 2 カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押す。  
 →マスク設定画面が表示されます。



- 3 SUPER-DII 機能のマスクの設定 (26ページ) の手順に従ってマスクを設定する。
- 4 マスク範囲設定後、設定ボタンを2秒以上押して、動き検出設定画面に戻る。  
 デモモードでアラーム信号を出力するとき : 手順5へ  
 デモモードでアラーム信号を出力しないとき : 手順6へ
- 5 動きを感知したときのアラーム信号をデモモードで出力したいときは、カーソルを「ALARM」に合わせ、左ボタン、右ボタンでONに設定する。



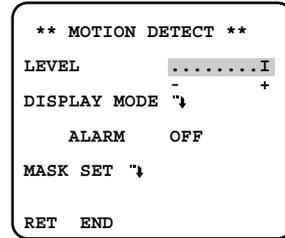
メモ

- 次に示すコントローラーを使用している場合、「ALARM」を「ON」にすると、デモモードでアラームを検出したとき、コントローラーの仕様により設定画面を終了し、通常画面に戻ります。  
 ・対象コントローラー : WV-CU161C、WV-CU360C、WV-CU550C、WV-CU650

(次ページへ続く)

6 カーソルを「DISPLAY MODE」に合わせ、設定ボタンを押す。  
→デモモードになります。マスク設定画面が表示され、48分割のマスク範囲が点滅し輝度の変化を検出します。

7 カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタン (-)、右ボタン (+) で感知レベルを調節する。



8 手順2~7を繰り返して、最適のレベルにする。

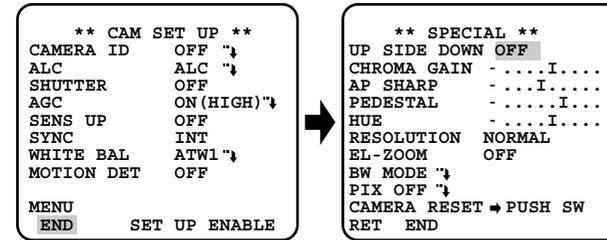
メモ

- 「ON」にすると、映像信号のブランキング期間にアラームデータを出力します。このため、ブランキング期間を使用する機器（タイムコードを使用するVTRなど）は誤動作します。したがって、ブランキング期間を使用する機器と組み合わせて使用するときは「OFF」にしてください。
- 蛍光灯下のフリッカのある被写体では誤動作する場合があります。
- 車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより、被写体の照度が急激に変化する場合は誤って検出することがあります。
- カメラが動きを検出してからVTRなどのアラーム端子までアラーム信号を送るのに約0.2秒の遅れがあります。
- モーションディテクター機能は盗難、火災などを防止するための専用装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切、負いかねます。

⑩カメラの画質を調節する [SPECIAL]

カメラの画質に関する設定を行います。

「END」にカーソルを合わせ、左ボタンを押しながら右ボタンを2秒間押し続けると、SPECIAL設定画面が表示されます。

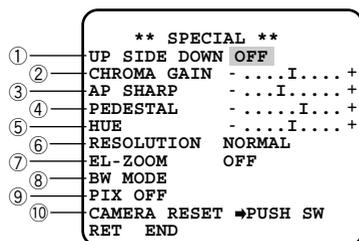


設定できる項目は以下のとおりです。

設定メニュー	内容	参照ページ
UP SIDE DOWN	画像の上下反転	36
CHROMA GAIN	クロマレベル（色度）の調節	36
AP SHARP/AP SOFT	アパーチャレベルの調節	36
PEDESTAL	ペDESTアルレベルの調節	37
HUE	クロマ位相（色調）の調節	37
RESOLUTION	映像解像度の設定	37
EL-ZOOM	電子ズームの調節	37
BW MODE	カラー映像と白黒映像の切り替え	38
PIX SENS UP	白黒映像時の感度アップ設定	40
BURST (BW)	バースト信号の出力設定	40
PIX OFF	傷を補正する	41
CAMERA RESET	設定内容のリセット	41

# カメラの画質を調節する

カメラの画質に関する各種設定を行います。



## ①画像を上下反転する [UP SIDE DOWN]

画像を上下反転させるかどうかON/OFFで設定します。

ON : 上下反転させます  
OFF (工場出荷時) : 上下反転させません

### !!重要!!

- この設定はディップスイッチでも行えます。詳しくは10、22ページをお読みください。

## ②クロマレベル (色度) を調節する [CHROMA GAIN]

クロマレベル (色度) を調節します。左ボタン、右ボタンでカーソルを動かします。カラービデオモニターを見ながら、調節してください。

## ③アパーチャレベルを調節する [AP SHARP/AP SOFT]

アパーチャレベルを調節します。左ボタン、右ボタンでカーソルを動かします。「-」方向に動かすとソフトな画面に、「+」方向に動かすとシャープな画面になります。カラービデオモニターを見ながら、調節してください。

### メモ

- AP SHARP/AP SOFTは設定ボタンを押すと切り替わりませんが、この設定に関係なく、カーソルを左端の「-」の位置まで動かすと一番ソフトな画像に、右端の「+」の位置まで動かすと、一番シャープな画像になります。
- SHARP/SOFTどちらの設定にするかは、ディップスイッチでも行えます。詳しくは10、22ページをお読みください。

## ④ペDESTALレベルを調節する [PEDESTAL]

ペDESTALレベルを調節します。左ボタン、右ボタンでカーソルを動かします。「-」方向に動かすと暗い画面に、「+」方向に動かすと明るい画面になります。カラービデオモニターを見ながら、調節してください。

## ⑤クロマ位相 (色調) を調節する [HUE]

クロマ位相 (色調) を調節します。左ボタン、右ボタンでカーソルを動かします。ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら、調節してください。

## ⑥映像解像度を設定する [RESOLUTION]

カメラ映像の解像度を以下から設定します。  
NORMAL (工場出荷時) : 水平解像度を480TV本以上に設定します。  
HIGH : 水平解像度を510TV本typ.に設定します。

### メモ

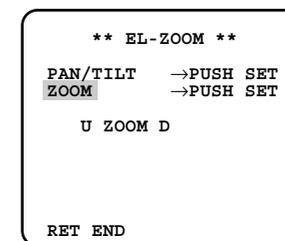
- 「HIGH」に設定した場合、低照度で電子感度アップ機能「SENS UP」が動作すると、ノイズが増える場合があります。

## ⑦電子ズームを調節する [EL-ZOOM]

電子ズーム機能のON/OFFを設定します。

ON : 電子ズーム機能を使用します。約2倍まで倍率を上げることができます。  
OFF (工場出荷時) : 電子ズーム機能を使用しません。

- 1 「EL-ZOOM」を「ON」にし、設定ボタンを押す。  
→電子ズーム設定画面が表示されます。
- 2 「ZOOM」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。  
→電子ズームを設定できる映像画面が表示されます。



(次ページへ続く)

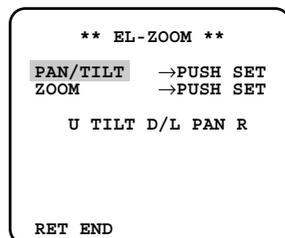
## カメラの画質を調節する (つづき)

- 3 下ボタン、上ボタンを押し、ズームを調節する。調節が終わったら、設定ボタンを押す。

→電子ズーム設定画面に戻ります。

- 4 「PAN/TILT」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。

→パン、チルトを設定できる映像画面が表示されます。



- 5 下ボタン、上ボタン、左ボタン、右ボタンを押し、アングルを調節する。調節が終わったら、設定ボタンを押す。

→電子ズーム設定画面に戻ります。

### メモ

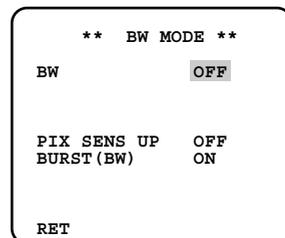
- 「PAN/TILT」は電子ズームの倍率を上げているときのみ有効です。
- システムコントローラーからのZOOM、PAN、TILT操作でも設定できます。

## ⑧カラー映像と白黒映像を切り替える [BW MODE]

画面の明るさ（照度）によって、カラー映像と白黒映像を自動的に切り替えるように設定します。設定すると、暗い場合は白黒映像に明るい場合はカラー映像になります。また、画面表示をカラー映像と白黒映像のどちらかに固定して表示させることもできます。

- 1 「BW MODE」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押す。

→BW MODE設定画面が表示されます。



- 2 「BW」の項目にカーソルを合わせ、画面の白黒制御を以下から設定する。

AUTO1 : 画面の明るさ（照度）によって自動的にカラー映像と白黒映像を切り替えます。設定すると、AUTO設定画面が表示されます。

AUTO2 : 光源を検出し、画面の明るさ（照度）によって自動的にカラー映像と白黒映像を切り替えます。照度の変化が著しい場合や赤外線光を使っている場合など、光源を検出することによって、誤動作を防ぎます。設定すると、AUTO設定画面が表示されます。

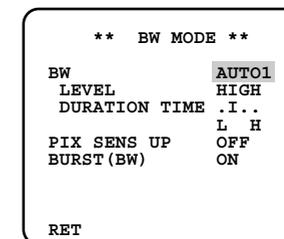
ON : 白黒画像を表示します。

OFF (工場出荷時) : カラー画像を表示します。

- 3 「LEVEL」にカーソルを合わせ、白黒映像に切り替える照度を設定する。

LOW : カメラ周囲の照度が約2 lx以下のときに白黒映像に切り替えます。

HIGH (工場出荷時) : カメラ周囲の照度が約5 lx以下のときに白黒映像に切り替えます。



- 4 「DURATION TIME」にカーソルを合わせ、左ボタン、右ボタンで白黒画像に切り替えるまでの時間を設定する（工場出荷時：30秒）。

設定時間：10秒－30秒－60秒－300秒

(S)

(L)

### メモ

- AUTO1、OFFの切り替えおよび白黒映像への切替レベル（HIGH/LOW）の設定は、ディップスイッチでも行えます。詳しくは10ページをお読みください。
- 光源の判断は、CCD撮像素子の情報により簡易的に判断しているため、たえず動いている被写体や全画面が一定の色の場合、うまく判断できないことがあります。「AUTO2」を設定する場合は、光源の波長800 nm以上で使用してください。

(次ページへ続く)

## カメラの画質を調節する（つづき）

- 5 「PIX SENS UP」にカーソルを合わせ、左ボタン、右ボタンでOFF、×2 AUTOを切り替える。

X2 AUTO : 白黒映像時、照度が低いとき、自動的に感度を2倍にします。

OFF（工場出荷時）：感度アップを行いません。

### メモ

- AGCをOFFの設定で使用する場合、「X2 AUTO」は使用できません。自動的に「OFF」に設定されます。
- 画が安定する際、一瞬輝度変化を生じる場合があります。

- 6 「BURST (BW)」にカーソルを合わせ、白黒映像時にバースト信号を出力するかどうかをON/OFFで設定します。

ON（工場出荷時）：バースト信号を出力します。

OFF : バースト信号を出力しません。

### メモ

- 通常はONにしてご使用ください。モニターやVTRなど種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない場合があります。

## 9 傷を補正する [PIX OFF]

カメラ映像内の傷を補正します。

- 1 「PIX OFF」にカーソルを合わせ、SETボタンを押す。

→ 「PIX OFF」画面が表示されます。

- 2 傷補正位置を登録する番号（1～8）を選択し、SETボタンを押す。

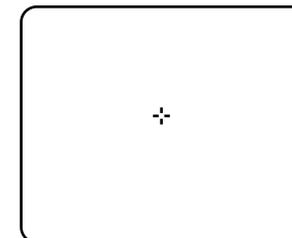
→ 傷補正位置設定画面が表示されます。

- 3 左ボタン、右ボタン、上ボタン、下ボタンを押して、補正したい傷の中心位置に十字カーソルを移動し、SETボタンを押す。

→ 傷が補正され、傷補正位置が登録されます。

「PIX OFF」画面に戻ります。登録されると、数字の右に「\*」印が表示されます。座標が数字で表示されます。

傷補正位置設定画面



### メモ

- 登録した傷補正位置を消去する場合は、「PIX OFF」画面で消去したい傷補正位置が登録されている番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。傷補正位置設定画面が表示され、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押します。「PIX OFF」画面に戻り、傷補正位置が消去され、数字右の「\*」印が消えます。

## 10 設定内容を工場出荷時の状態に戻す [CAMERA RESET]

設定内容をリセットして工場出荷時の状態に戻します。

- 1 「CAMERA RESET」の「PUSH SW」にカーソルを合わせる。

→ 「PUSH SW」が反転表示します。

- 2 左ボタンと右ボタンを押しながら、設定ボタンを2秒以上押し続けます。すべての設定メニューの内容が工場出荷時の状態に戻ります。

### <設定メニューを個別にリセットしたいときには>

リセットしたい設定メニューにカーソルを合わせ、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押します。

電源	AC24 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	約3.4 W (別売りヒーターユニットの消費電力：約12.1 W)
撮像素子	1/3型 インターライン転送方式CCD
有効画素数	768 (H) × 494 (V)
走査面積	4.8 mm (H) × 3.6 mm (V)
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期、電源同期、多重VD同期 (VD2)
走査方式	2:1インターレース
走査周波数	水平：15.734 kHz 垂直：59.94 Hz
映像出力	VBS：1.0 V [P-P] /75 Ω (BNCプラグ)
解像度	水平：570TV本以上 (白黒モード)、 510TV本以上 (カラーHIGHモード)、 480TV本以上 (カラーNORMALモード)
最低照度	0.2 lx (白黒モード F1.4、WIDE端)、 2.0 lx (カラーモード F1.4、WIDE端)
S/N	50 dB (AGC OFF時)
レンズ部	
タイプ	2倍バリフォーカルレンズ
焦点距離 (f)	3.8 mm~8.0 mm
最大口径比 (F)	1:1.4 (WIDE) ~1:1.8 (TELE)
フォーカス範囲	∞~1.2 m
画角	水平：35.6° (TELE) ~73.6° (WIDE) 垂直：26.6° (TELE) ~53.4° (WIDE)
使用温度範囲	-10℃ ~ +50℃ ヒーターユニット使用時：-30℃ ~ +50℃
使用湿度範囲	90%以下 (結露しないこと)
寸法	幅 φ152.5 mm 高さ 137 mm
質量	約 1.2 kg
仕上げ	本体：アルミダイカスト 新OAアイボリー色 (マンセル5.5Y 7.5/0.3近似色) ドーム部：スモークポリカーボネート樹脂

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…  
まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

### ■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

### ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理を依頼されるとき

まず電源を切って、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は  
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。  
修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。